

# 地区防災センターにおける 避難所運営委員会について

令和6年5月23日

前川地区避難所運営委員会

事務局長 岸 和義



## 1, 運営組織構築のための基本要件

組織は連合町内会や協議会などを  
後ろ盾とした方が持続性を得やすい

# 避難所運営委員会の位置づけ



前川地区協議会の下部組織としての「前川地区避難所運営委員会」  
＜その委員会規約の要点＞

- ・平成25年に制定 適宜見直し
- ・運営委員会の会長は連合町内会（協議会）の会長
- ・活動費は連合町内会（協議会）から支出される
- ・活動の目的は避難所の運営を的確に行うことにある
- ・実行部隊として自主防災会から選出の対策委員（サポート委員）と施設管理者（学校）とセンター長（市職員）があたると明記

連合町内会の運営組織  
のひとつとして  
位置づけられている

前川地区協議会

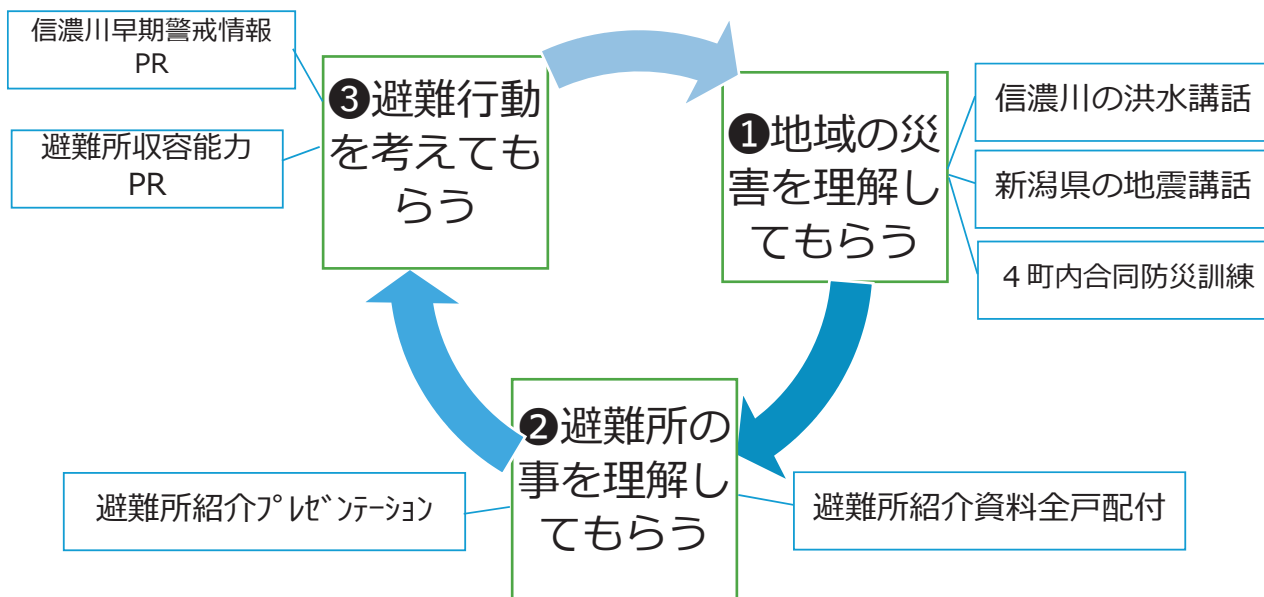
避難所運営委員会

# 施設管理者、市職員との協力



- 1, 避難所運営委員会規約に「施設管理者の責務」、「防災センター長等の責務」の条項を設け、役割と協力関係をうたっている。
- 2, 避難所運営委員会規約に年2回の定例運営委員会の開催を明示してある。市職員、学校教頭、校長にも案内。
- 3, 毎年夏に行われる「避難所開設訓練」ならびにその後の「避難所運営訓練」については準備から当日開催まで数回の合同会議を開催し、協力し実行している。

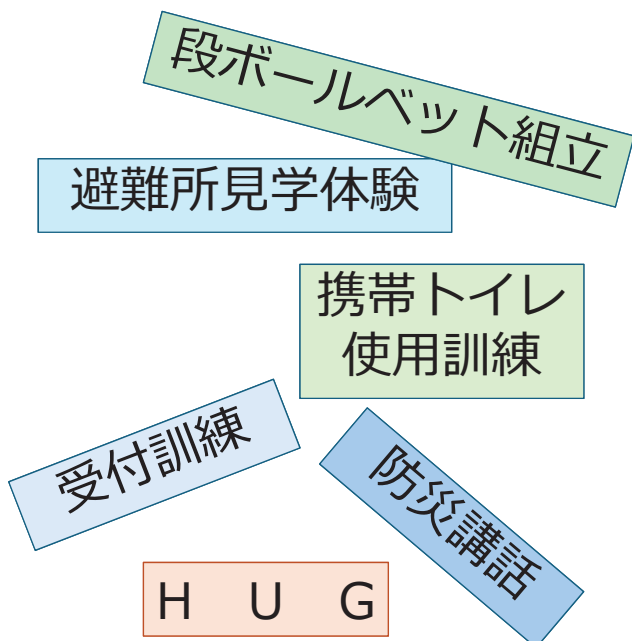
# 避難所運営 を可能にするために



防災、災害の基本を地域に浸透させ、その上に「避難所運営」を組み立てる

## “避難所運営”をどう訓練するか？

何をもって「運営訓練ができた」とするか？



これでいいのかな？

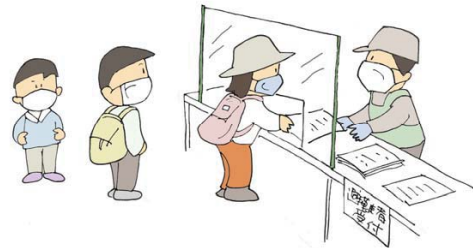


時間制約もあるし…

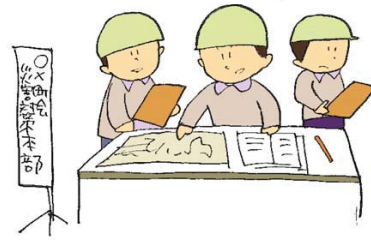
# “避難所運営” をこう訓練してみよう

今年9月1日にはサポートメンバー主体で2つの訓練を行う

- 1, 感染症対応型の避難者  
受入れ誘導訓練を行う



- 2, 本部を立上げ、本部の  
機能を一通りやってみる



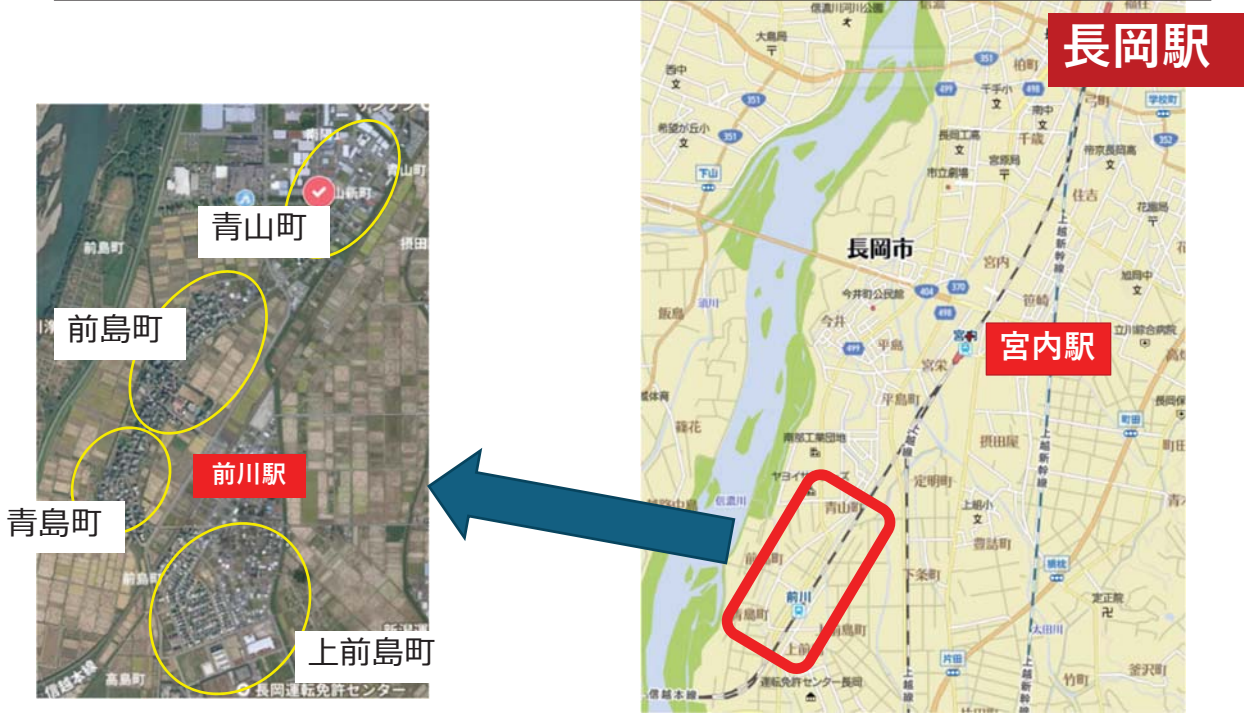
---

今年も、避難所開設直後の行動を「少ない人数のサポートメンバー」で地域の避難者を迎えて訓練。

## 2, 前川地区避難所運営委員会活動紹介

12年間の取組み経緯と主な実施事項  
の紹介。現在の委員会体制の紹介も

# 4つの町内連合で防災組織形成



12年前から青山町、前島町、青島町、上前島町の4町内連合で避難所運営をめざす 9

## 避難所運営委員会の活動経過 1

平成24年	25年	26年	27年	28年	29年	30年
防災センターに指定 委員会発足	・部会機能整備	・部会業務マニュアル整備 ・信濃川洪水講話	運営マニュアル作成	・中越地震の講話(避難所運営)	・避難所運営ゲーム実施 ・4町内合同の防災訓練	・4町内合同の災害食体験

**中越地震の振り返り**

防災講話 「前川の避難所はこう運営された」

日時 ■平成28年10月25日(火曜)  
 ①午後6時半～7時16分 防災講話  
 ②7時16分～7時45分 避難所運営について

会場 ■前川小学校 増築校舎2階 工作室

講師 ■前島町 室橋一真様(当時前島町町内会長)  
 避難所運営紹介 岸和義(前川地区協議会 防災委員長)



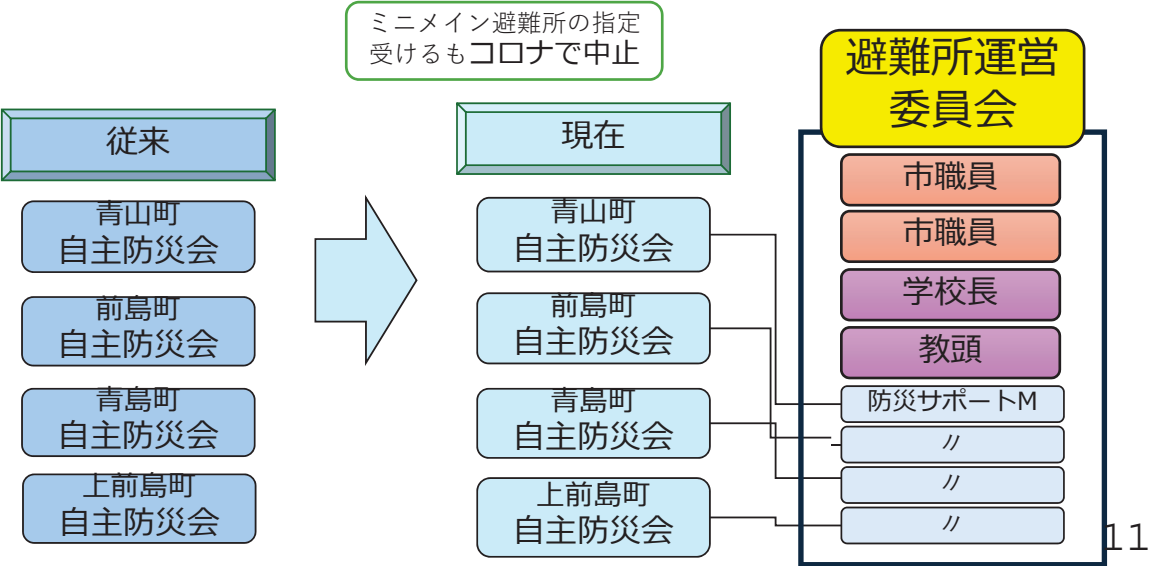
HUG





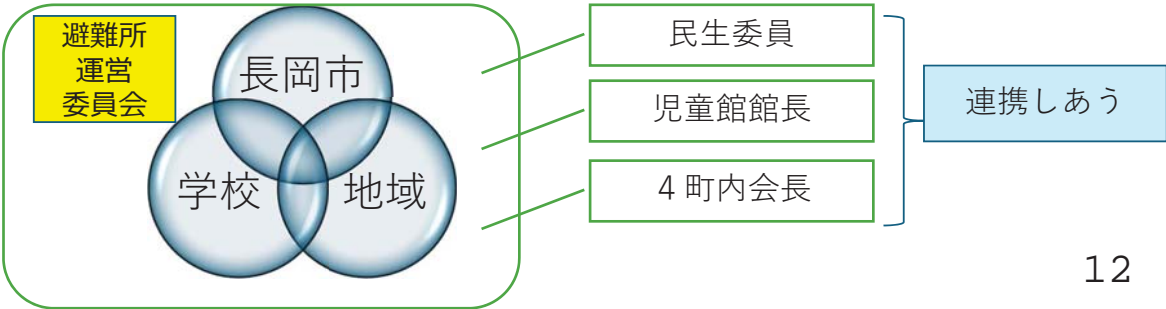
# 避難所運営委員会の設置経緯 2

令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
・ 4 町内合同 防災訓練	・ 避難所開設 訓練（合同）	全戸に避難所 紹介チラシ配付	避難所運営訓練 （備蓄品、トイレ）	避難所運営訓練 （洪水で2階に）



# 避難所を運営する組織、関係者 ★

- 避難所は、「長岡市（職員）」、「学校（職員）」、「地域の防災リーダー（町内会長など）」の3者が協力して運営されます。・・長岡市のマニュアル
- 地域、行政、施設管理者で避難所を運営する「組織：避難所運営委員会」を形成。
  - ◇「長岡市」： ■■■■（防災センター長）、 ■■■■（副防災センター長）
  - ◇「学校」： ■■■■（校長）、 ■■■■（教頭）
  - ◇「地域」： ■■■■、□□□□（青山町防災サポートメンバー3名）  
 ■■■■、□□□□（前島町防災サポートメンバー2名）  
 ■■■■、□□□□（青島町防災サポートメンバー2名）  
 ■■■■、□□□□（上前島町防災サポートメンバー3名）
- 町内会長は避難所運営委員ではありますが、災害時に避難所に詰めません。



# 平常時からの役割分担



- 災害の時に、役割を決めていたのでは混乱してしまいます。  
当地区のマニュアルでは、運営委員の役割を決めています。
- 学校職員、市の職員、そして地域の方々も異動や変更があります。  
年度はじめに役割を確認しています。

組織	担当	主な仕事
本部	協議会会長（連合町内会長）	避難所全体運営指揮
施設部	校長	施設の安全確保
広報部	センター長（市）	本部との情報送受、情報収集伝達
物資部	青島町サポートメンバー	食料などの受入れ配布
保健部	前島町サポートメンバー	避難所の清潔維持、衛生管理
名簿部	センター長（市）	避難所の名簿作成
救護部	上前島町サポートメンバー	傷病者の応急手当

13

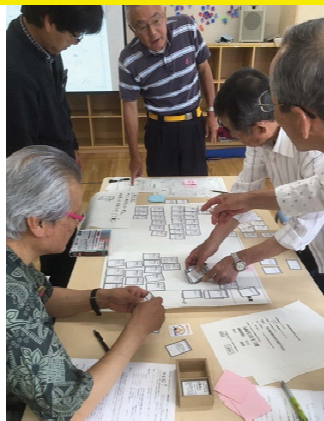
## 実地訓練で避難所理解を促進



避難所運営ゲーム



4町内合同防災訓練



14

# 防災サポートメンバーの年間活動



月	実施事項 (●=サポートメンバー会議 □=定例全体会議)
1月	
2月	・ 連合町内会長会議に昨年実績・今年の計画を報告
3月	●防災サポートメンバー会議 年間活動計画点検
4月	□定例避難所運営委員会／前川防災会議～年度計画
5月	
6月	□小学校防災備品棚卸 市職員とのWS：時々課題 ●防災サポートメンバー会議（8月の訓練計画）市職員合同
7月	●防災サポートメンバー会議（8月の訓練計画）市職員合同
8月	★避難所開設訓練を主導（市と協働）★避難所運営訓練
9月	●防災サポートメンバー会議
10月	★年度合同防災イベント実施（秋の催しものある場合）
11月	□定例避難所運営委員会／前川防災会議
12月	●1年の振り返り、反省会

## 3、地域への災害、防災情報の発信

- ①資料の全戸配付で避難所理解を
- ②講演会、セミナーの実施
- ③避難所開設訓練後のプレゼンテーション









一昨年の「避難所運営訓練」資料のサンプル 3枚

## 避難所運営訓練の部 要点集 (避難所開設訓練に引き続き実施)



前川地区協議会 避難所運営委員会  
令和4年8月28日 (日)

一昨年の「避難所運営訓練」資料のサンプル 3枚

### 1, 重要な「信濃川早期警戒情報」



長野市等に洪水の恐れがある時に長岡市に警報が。

この大水は9時間後に長岡に到着



この9時間を利用して車で安全な避難場所に移動

長野で洪水になりそう

## 2, 避難者受入れ人数

- ・中越地震の際の前川小学校への避難者は500名と市の資料にあります。
- ・地震の場合の避難所と洪水の場合の避難所とでは収容者数に違いが出ます。
- ・従来（1人あたり2㎡）と異なり、**感染症対応を行う（4㎡/人）場合も想定しなければなりません。**

・「長岡方式の避難行動」を理解し、極力「垂直避難」が「広域避難」を心掛け、小学校への避難は要支援者等に留めたいものです。車の水没を避けるには水の来ない所へ避難しましょう。

災害のパターン	平常時収容可能人数	感染症対応時
1, 大きな地震 震度5強以上 体育館を使える	体育館のみで約250名 教室も利用時約600名	体育館のみ時 約120名 教室も利用時 約300名
2, 信濃川の洪水 警戒レベル4 2階以上に避難	2階以上のみ 約240名 サポートメンバー試算	2階以上のみ 約110名

合同防災訓練や避難所開設訓練後の避難所学習講座

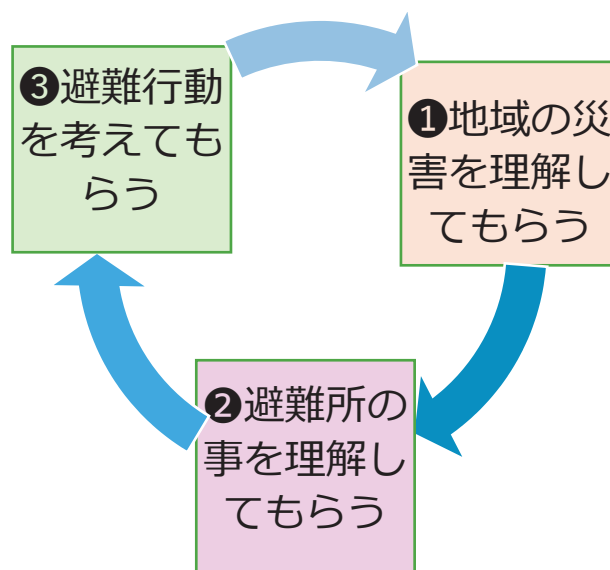






昨年は、洪水時の校舎2階が避難場所になることを想定し「学校見学」を実施

## 避難所運営について研究を続けます



終

避難所運営のみが活動の目的でなく、住民の命を守れる風土を作ることが真の狙いです。